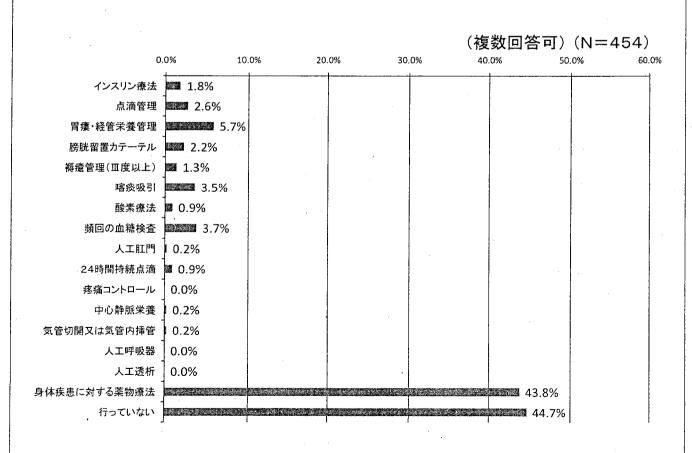
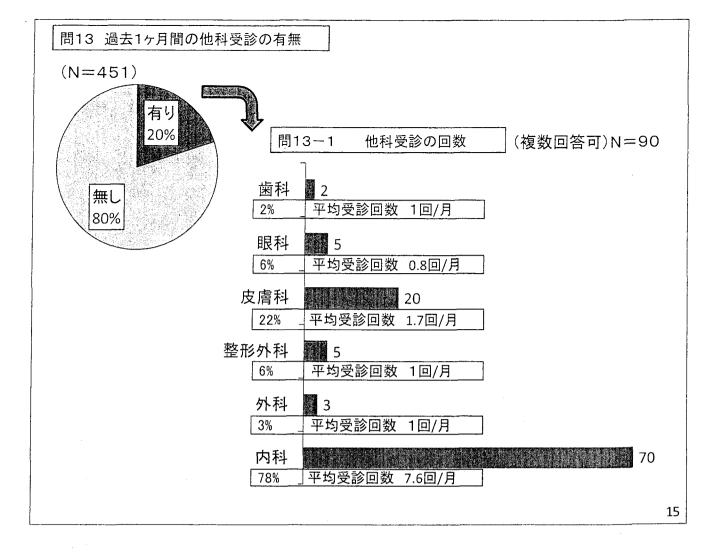
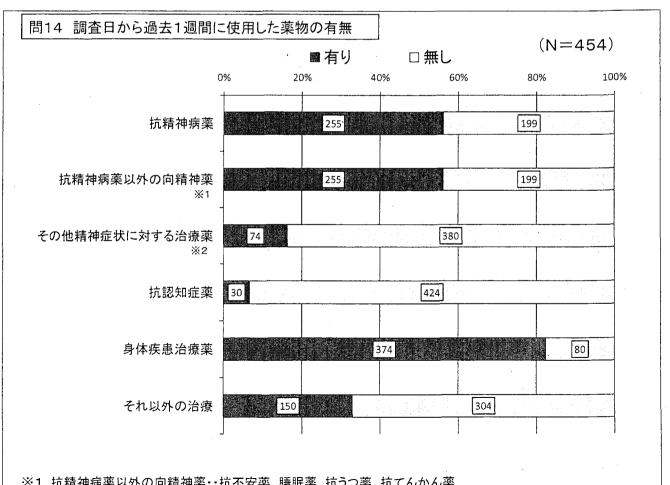


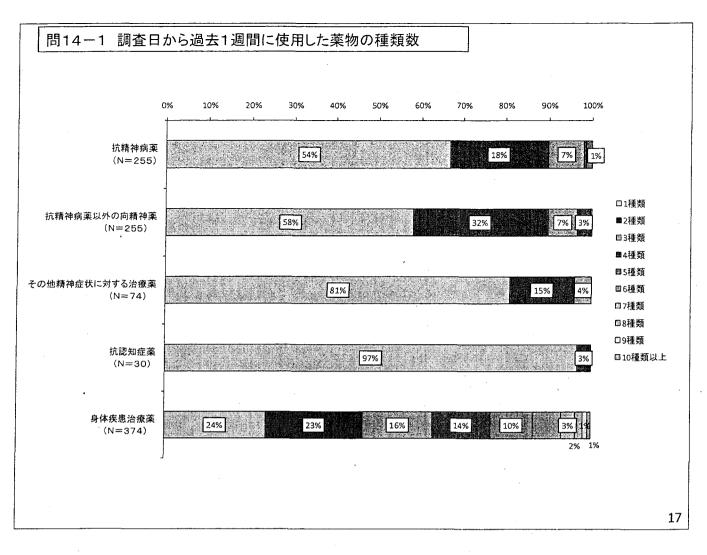
問12 調査日における対象者に行っている身体的管理

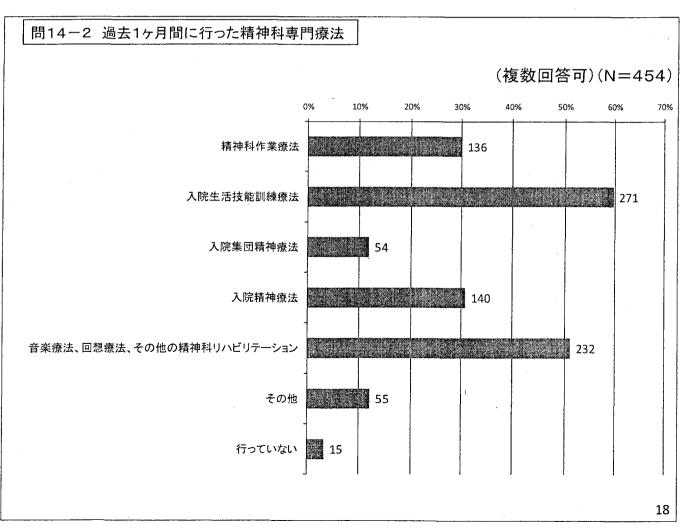


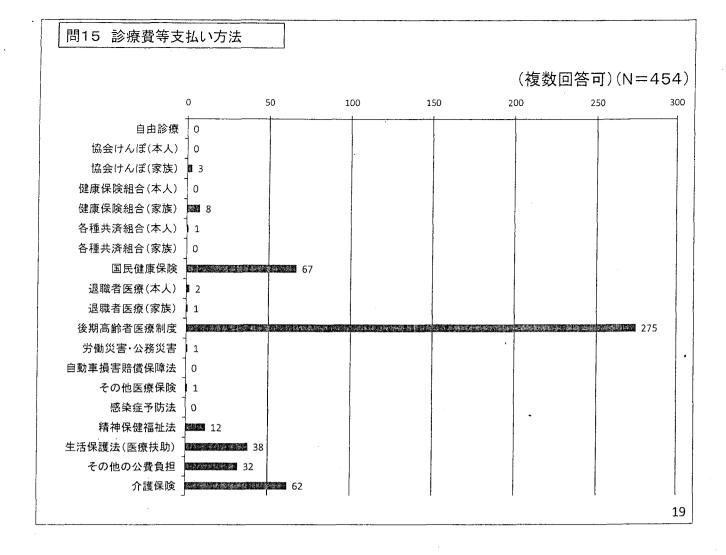


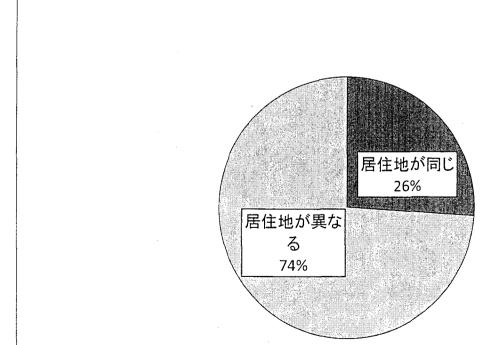


- ※1 抗精神病薬以外の向精神薬・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬
- ※2 その他の精神病上に対する治療薬・・漢方薬など



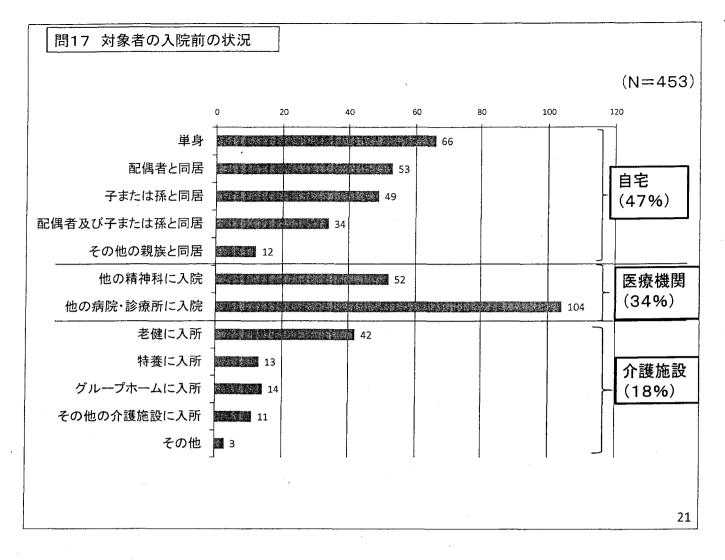


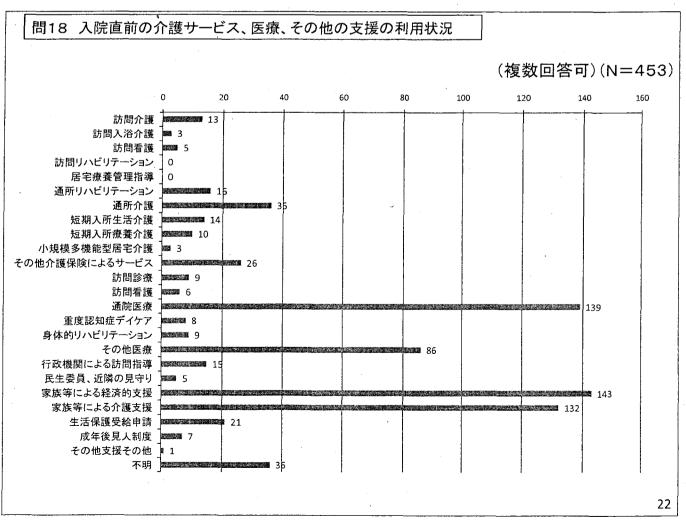




問16 病院の所在市町村と患者居住地が同じか

(N=453)





問19 入院の理由

(N = 453)

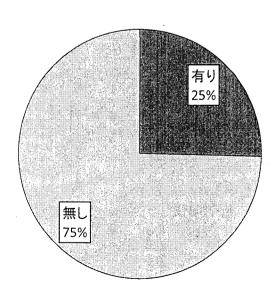
- ■精神症状・異常行動が著明となり、在宅療養や介護施設等での対応が困難となったため
- ■精神科以外の医療施設で身体合併症の治療を行っていたが、精神症状・異常行動が著明となり治療継続ができなくなったため
- 国身体疾患の急性期状態が安定し、精神症状の加療が必要なため
- ■精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できると思われるが、適切な施設に空きがなかったため
- ■精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できると思われ、適切な施設に空きはあったが、医療介護サービスの対応が困難と言われたため
- ■精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療が確保できないため
- ロ精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在 宅介護サービスが確保できないため
- 回精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため
- 回上記以外で、家族等が強く希望するため

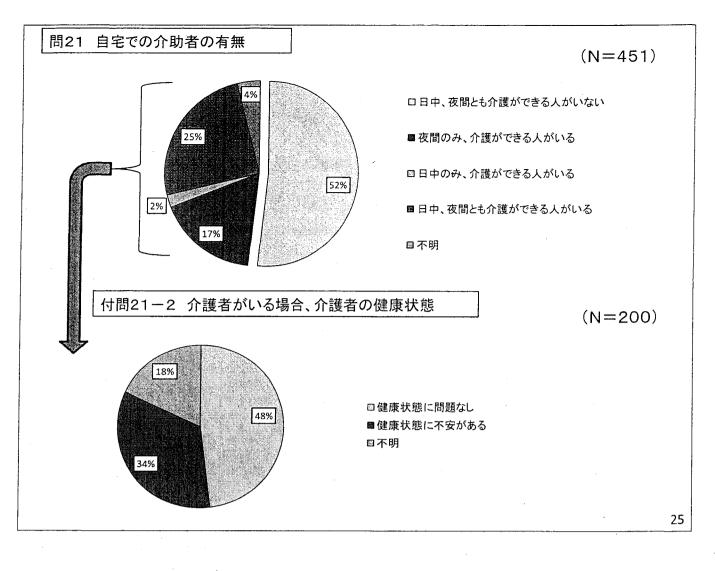
回その他

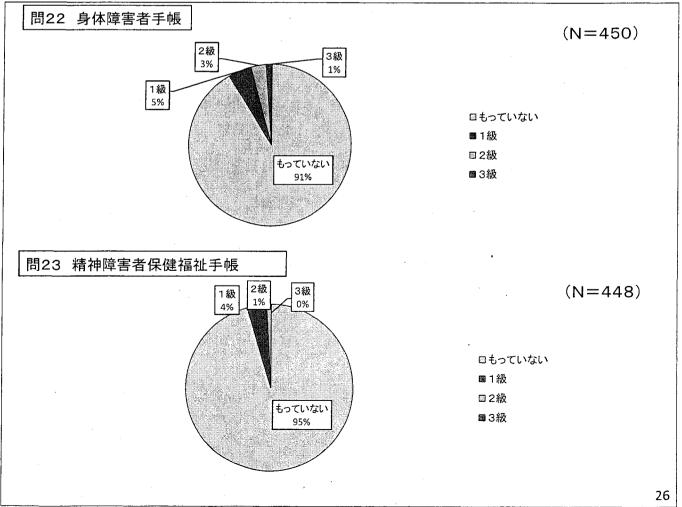
23

問20 対象者の地域との関わり合い(身近に気軽に相談できる相手がいるなど)

(N=453)

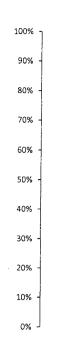


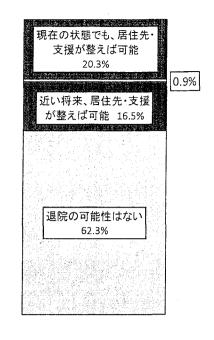




(N = 454)

- 1. 現在の状態でも、居住先・支援 が整えば退院は可能
- □2. 状態の改善が見込まれるので、 居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- ■3. 状態の改善が見込まれるので、 居住先・支援が整えば近い将来 (6ヶ月以内)には可能になる
- □4. 状態の改善が見込まれず、居住 先・支援を整えても近い将来(6ヶ月 以内)の退院の可能性はない

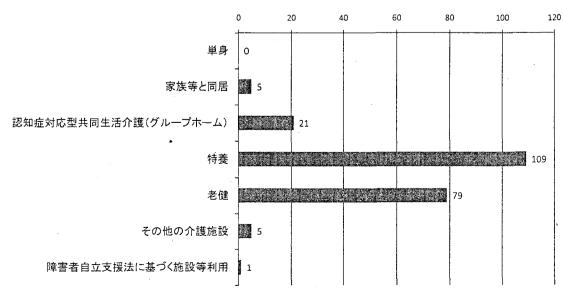




27

問25 問24で1, あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、適切と考えられる「生活・療養の場」 (複数回答可)(N=167)

単身	0	0.0%
家族等と同居	5	3.0%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	21	· 12.6%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	109	65.3%
介護老人保健施設(老健)	79	47.3%
その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)	5	3.0%
障害者自立支援法に基づく施設等利用(ケアホーム、グループホームなど)	1	0.6%



※33人は、特養と老健を重複して回答

28